Printed in China WM62600-2

保証書別添付

J

YAMAHA

BLUETOOTH ワイヤレススピーカー
NX-B02 取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、保証書と共に使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

⚠ 警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
- 異常なにおいや音がする。 ● 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源コードを傷つけない。
- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。 ● 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

表示された電源電圧（100 V）で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

⏻スイッチをオフにしても、本機はまだ完全には主電源から遮断されていません。本機を完全に主電源から切り離すためには、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

電池

電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理および調整は販売店にご依頼ください。

設置

本機を下記の場所には設置しない。
- 浴室・台所・海岸・水辺
- 雨や雪、水がかかるところ
- 加湿器を過度にきかせた部屋

水の混入により、火災や感電の原因になります。

放熱のため、本機を設置する際には:
- 布やテーブルクロスをかけない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

あおむけや横倒しには設置しない。
故障やけがの原因となります。

心臓ペースメーカーまたは除細動器などを装着している人から22 cm以上離して使用してください。
ペースメーカーに影響を与え重大事故につながる場合があります。

使用上の注意

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。

本機を落としたり、本機が破損したりした場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
- **水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。**
- **接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。**

手入れ

電源プラグ、または電池ケースのゴミやほこりは、定期的に取り除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグや金属部がショートして火災や感電の原因になります。

テレビの近くでご使用になり万一色ムラや雑音などが生じるときは、本機とテレビの距離を離してご使用ください。

お客様は本機に組み込まれているソフトウェアの一部または全てをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、改変、翻訳、もしくは逆アセンブルしないでください。お客様が法人の場合は自己の従業員やお取引先に本項に規定する禁止事項を遵守せしめるものとします。本項および本契約の規程を遵守できなかった場合には直ちに本ソフトウェアの使用を中止してください。

⚠ 注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

ACアダプターを使用するときは、付属のアダプターを使用する。
それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。

ACアダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしない。
熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。

電池

電池は極性表示（プラス+とマイナス−）に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

電池と金属片を一緒にポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

使い切った電池は、自治体の条例、または取り決めに従って廃棄する。

設置

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

直射日光の当たる場所や温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばや車内など）には設置しない。
外装の変形や、内部回路への悪影響が生じて、火災の原因になります。

移動

移動するときは、本機（または接続機器）の電源スイッチを切り、すべての接続コードを外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意

再生を始める前に、音量（ボリューム）を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときは、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、本機の電源を切り、説明に従って接続してください。

側面から音が出るため、側面をふさがないでください。

側面の近くにブラウン管を置かないでください。
色むらが起きることがあります。

手入れ

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

車内・屋外での使用上の注意

- 運転中は使用しないでください。
- 炎天下の車内や直射日光の下、またはほこりっぽいところに設置したり放置したりしないでください。

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

このたびはヤマハ製品をお買い上げいただきありがとうございます。

はじめに

◆ **2 種類の電源供給方式**
ご使用になる状況に応じ、電源の供給方式を AC アダプターと電池から選ぶことができます。

◆ **Bluetooth による無線接続**
Bluetooth 技術により、無線接続でクリアな音声を楽しむことができます。

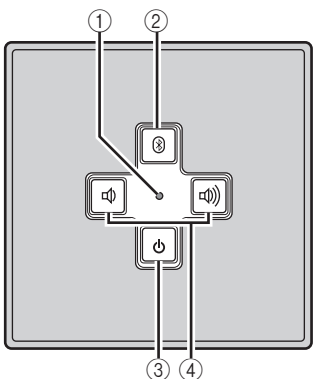
◆ **本格的なステレオサウンド**
高品質のアンプ、振動板、そしてヤマハ独自の SR-Bass 方式により高音質を実現しました。

◆ **PowerStorage™ 回路（最大 20 W）**
ヤマハ独自の技術によって最大瞬間出力 20 W を実現しました。

■ **付属品を確認する**
AC アダプター（DC 12 V、1 A）
.... MU12-2120100-A1 × 1

SR-Bass
「Swing Radiator Bass™」はヤマハ株式会社の登録商標です。

PowerStorage™
「PowerStorage™」はヤマハ株式会社の登録商標です。

各部の名称とはたらき

① **ステータスインジケーター**
本機の状態を LED によって示します。詳しくは裏面の「ステータスインジケーターについて」をご覧ください。

② **(Bluetooth［ブルートゥース］／ミュート）ボタン**
ペアリングを行うときや、一時的に音を消したいときに押します。
ミュートを解除するときは、を再び押すか、/ を押します。ミュート時はステータスインジケーターが点滅します。

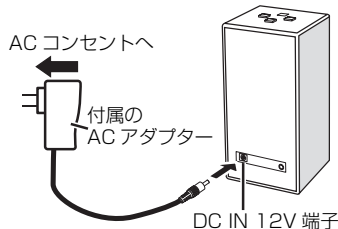
③ **⏻（電源）ボタン**
本機の電源を入れます。再度押すと、電源が切れます。本機の電源が入ると、ステータスインジケーターが点灯します。

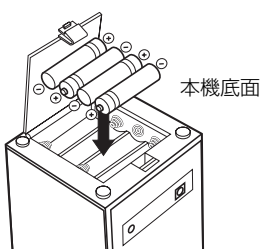
④ **/（ボリューム）ボタン**
音量を調節します。を押すと音量が上がり、を押すと音量が下がります。

接続する

電源と音声入力はそれぞれ 2 通りの方法があります。お使いになる状況に応じてお選びください。

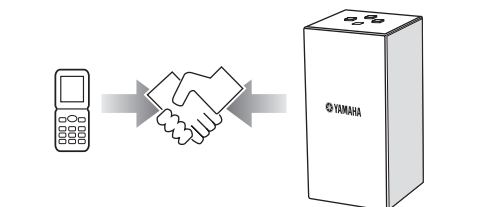
電源の接続

1 AC アダプターを使用する場合

1 付属の AC アダプターを本機背面の DC IN 12V 端子に接続します。
2 ACアダプターをACコンセントに接続します。

2 電池を使用する場合

1 本機底面の電池カバーを開けます。
2 電池ケースに記載された極性（+、−）にしたがって市販の単 3 電池 4 本を入れます。
3 電池カバーを閉めます。

ご注意
- ⏻ボタンを押してもステータスインジケーターが点灯しない場合は、すべての電池を交換してください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 異なる種類の電池（アルカリとマンガンなど）を混ぜて使用しないでください。電池の包装をよく読み、同じ種類であることを確認してください。
- 長期間（1ヶ月以上）ご使用にならない場合は、本機から電池を取り外してください。
- 電池が液もれしている場合は、すぐに取り外してください。漏れた液に触ったり、衣服が触れないようにご注意ください。新しい電池を入れる前に電池ケースを拭いてください。
- 使用済みの電池を一般ゴミと一緒に捨てないでください。お住まいの自治体の条例、または取り決めに従って廃棄してください。

音声入力

1 Bluetooth 接続を使う場合

初めて Bluetooth 接続を使うときや、ペアリング情報が削除されたときは、ペアリングを行う必要があります。ペアリングとは、通信を行う機器（以下「相手機器」）を本機に登録する操作です。下記の手順に従ってペアリングしてください。

セキュリティ確保のため、ペアリング操作には 8 分間の制限時間が設けられています。一度すべての手順を読んでから実際の操作を行うことをお勧めします。

1 相手機器の電源をオンにします。

2 本機の⏻ボタンを押して電源をオンにします。

3 ボタンを 4 秒以上押し続けます。
本機はペアリングモードに入ります（ステータスインジケーターが青色に点滅します）。

4-a ［入力キーがある機器（携帯電話、パソコンなど）の場合］
相手機器を操作して、Bluetooth 機器を検索します。
詳しくは、相手機器の取扱説明書をご覧ください。

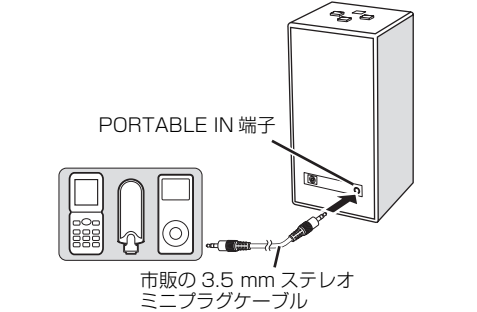
4-b ［入力キーがない機器（Bluetooth アダプターなど）の場合］
相手機器をペアリングモードにし、ステップ 7へ進みます。
詳しくは、相手機器の取扱説明書をご覧ください。

5 相手機器の検索結果から「NX-B02 YAMAHA」を選択します。

6 パスキーの入力を要求されたら、数字で「0000」を入力します。

7 ペアリングの完了を確認します。
ステータスインジケーターが高速に点滅すれば本機のペアリングは完了です。相手機器のペアリングも完了していることを確認してください。ステータスインジケーターが高速で点滅しなかったり相手機器のペアリングが成功しなかったりした場合は、手順 3 から操作をやり直してください。

ご注意
- ペアリングモードのときは相手機器と Bluetooth 通信をすることはできません。間違ってペアリングモードに入った場合は、ボタンを短く押してペアリングモードを終了してください。
- 本機は最大 8 台の相手機器とペアリングできます。9 台目の相手機器とのペアリングが成功すると、接続した日時がもっとも古い機器のペアリング情報が削除されます。
- ペアリング中に本機への電源供給が断たれるとペアリング情報が破棄されることがあります。その場合は、「ペアリング情報を削除する」（下記）の手順を行った後で再度ペアリングしてください。

2 アナログ入力を使う場合

接続したいオーディプレーヤーと本機背面の PORTABLE IN 端子を、市販の 3.5 mm ステレオミニプラグケーブルを使って接続します。

ご注意
接続する前に、本機の電源を切ってください。

再生する

1 ⏻ボタンを押して本機の電源を入れます。
ステータスインジケーターが点灯します。

2 Bluetooth 機器またはオーディオプレーヤーの再生を開始します。

3 ／ボタンを押して音量を調節します。

ご注意
再生中は Bluetooth 機器のほうがオーディオプレーヤーよりも優先されます。

- 本機はステレオスピーカーです。左右のチャンネルをちょうどよいバランスで楽しむには、ヤマハロゴが聴く位置に向くように置いてください。
- 本機を使わないときは、電池の消費を抑えるために⏻ボタンを押して電源を切ってください。

■ **再生が終わったら**

1 Bluetooth 機器またはオーディオプレーヤーの再生を終了します。

2 ⏻ボタンを押して電源を切ります。
ステータスインジケーターが消灯します。

■ **ステータスインジケーターについて**

ステータスインジケーターの状態	本機の状態
緑色に点灯	本機はオーディオプレーヤーの音声を再生しています。
青色に点灯	本機は Bluetooth 機器の音声を再生しています。
点滅している	本機はペアリングモード、または消音状態です。
1 度だけ点滅する	本機の音量が最大か最小です。
消灯	本機の電源が切れているか、電源が接続されていません。

ペアリング情報を削除する

1 本機の電源が切れていることを確認します。

2 、とボタンを押しながら、⏻ボタンを押して本機の電源を入れます。
ステータスインジケーターが青色に点滅します。

3 ボタンを押します。
本機はペアリング情報を削除します。
削除が終わると、ステータスインジケーターは緑色に点灯します。

トラブルシューティング

下記以外の症状が起きた場合は、本機の電源を切り AC アダプターまたは電池を外してお買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響サービス拠点にお問い合わせください。

一般

症状	原因	対処
音が出ない。	本機と相手機器が正しく接続されていない。	正しく接続してください。
	音量が最小になっている。	音量を上げてください。
	本機がミュートされている。	ミュートを解除してください。
	AC アダプターが正しく接続されていない。	AC アダプターを正しく接続してください。
	電池が消耗している。	電池をすべて交換してください。
音量が不安定である。	音声の過入力が原因で、保護回路が動作している。	音量を下げてください。

Bluetooth 接続時

症状	原因	対処
本機と相手機器がペアリングできない。	相手機器が A2DP に対応していない。	A2DP に対応した機器とペアリングしてください。
	Bluetooth アダプターなどの機器でパスワードが「0000」以外である。	パスワードが「0000」の Bluetooth アダプターなどの機器をご使用ください。
	距離が離れすぎている。	本機を相手機器から 10 m 以内に置いてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線 LAN 機器など）がそばにある。	本機を離して設置してください。
	相手機器の電源が入っていない。	相手機器の電源を入れてください。

Bluetooth 接続時 （つづき）

症状	原因	対処
音が出ない、または音が途切れる。	本機と相手機器との Bluetooth 接続が途切れた。	接続し直してください。
	距離が離れすぎている。	本機を相手機器から 10 m 以内に設置してください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの（電子レンジ、無線 LAN 機器など）がそばにある。	本機を離して設置してください。
	相手機器の Bluetooth 機能が無効になっている。	相手機器の Bluetooth が正しく設定されていることを確認してください。
	本機が相手機器の Bluetooth 機器リストに登録されていない。	再度ペアリングを行ってください。
	相手機器が Bluetooth 信号を本機に送っていない。	相手機器の Bluetooth が正しく設定されていることを確認してください。
	相手機器の出力切替が本機になっていない。	相手機器の出力切替を本機にしてください。
	相手機器の音量が最小になっている。	相手機器の音量を上げてください。

仕様

スピーカー形式 .... 1 Box ステレオタイプ、Twin SR-Bass 方式、防磁型
スピーカーユニット
.... 4.5 cm 振動板フルレンジ× 2
アナログ入力端子 .... 3.5 mm ステレオミニ端子
入力感度／インピーダンス ....200 mV/20 kΩ
最大信号入力
　アナログ入力 .... 2.0 V
Bluetooth .... Ver. 2.0+EDR、A2DP 対応
ダイナミックパワー .... 6 W × 2（1 kHz、6 Ω）
瞬間パワー *
.... 10 W × 2（1 kHz、6 Ω、10% THD）
再生周波数帯域 .... 90 Hz ～ 20 kHz

電源入力
　AC アダプター .... AC 100 V、50/60 Hz
　電池 .... 単 3 電池× 4
　乾電池寿命：アルカリ電池使用時約 4 時間（10 mW + 10 mW 出力時）
消費電力 .... 8 W
待機時消費電力 .... 0.6 W
使用温度範囲 ....+5 ℃ ～ 35 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）....84 × 170 × 84 mm
重量...600 g

*100 ミリ秒の間連続して出力できるパワーを表します。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

Bluetooth® について
- Bluetooth とは、無許可で使用可能な 2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標でありヤマハはライセンスに基づき使用しています。

■ **Bluetooth 通信の取り扱いについて**
- Bluetooth 対応機器が使用する 2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth 対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべての Bluetooth 機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

お手入れのしかた
キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。汚れがひどいときは、水を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

本機の無線方式について

「2.4」 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「FH」 変調方式は周波数ホッピング（FH-SS 方式）
「1」 想定干渉距離が 10 m 以内
全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ **ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ**
お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。
http://www.yamaha.co.jp/audio/

■ **AVお客様ご相談センター**
ナビダイヤル（全国共通） 0570-01-1808
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受 付 日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ **ヤマハ電気音響製品修理受付センター**
ナビダイヤル（全国共通） 0570-01-2808
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-4830
FAX（053）463-1127

受 付 日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：月～金曜日 9:00～19:00　土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口
受 付 日：月～金曜日（祝日および弊社の休業日を除く）
受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内 FAX (011)512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F FAX (03)5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市東区和田町200 ヤマハ(株)和田工場内 FAX (053)462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F FAX (052)652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F FAX (06)6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4 FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● **保証期間**
お買い上げ日から1年間です。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**
技術料　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!

愛情点検

こんな症状はありませんか?
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。
事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中区中沢町10-1